

“会計基準が変わります！！”

日本の会計基準が国際会計基準に計った**国際財務基準(IFRS ; International Financial Reporting Standards)**が採用されます。

食品業界でこれまでの会計基準と変るのは次の通りです。

1. 財務諸表の表記が大きく変わります。
 - ・貸借対照表⇒財務状態計算
 - ・損益計算書⇒包括利益計算書
2. 原則主義=発生主義(Accrual Basic)を基準としますので、**実棚金額が最終金額**ではなく**購入時価格**を使用します。(最終原価方式⇒取得原価方式)先入先出が不完全な在庫管理は大変です。
3. 販売面ではクーポン券等の得点クレジットが、これまでの原価ベースの引当金から売価ベースの引当金に変わります。“内部統制が強化されます”
4. 貸倒引当金が原価ベースから売価ベースに変わります。
5. 減価償却は日本で決められています。“特別償却”が不認可となります。
6. 標準原価と実際原価の乖離(生産能力)をなくし、原価差異を認めない。つまり、製造コスト、特に“商品個別原価”を正確に出すことが要求されています。



参考書籍:中央経済社 鑑定科目別「IFRS(国際財務報告基準)適用の実務ポイント」

新日本有限責任監査法人編集 定価¥2,800

■2009年のセミナー報告

NEC 岡山セミナー

2009年10月14日(水) 13:00~17:00

食品製造・加工業「ソリューション・セミナー&デモ」

講演

- ①『コストを半減できる新しい8つのコストダウン手法～在庫管理・原価管理など～』 講師:山口 俊之 先生
- ②『食品の安全・安心のための危機管理、特にトレーサビリティ・システムのつくり方～RFID(IC 無線タグ)を使ったシステム』 講師:高橋 貞三 先生

CSK セミナー

【第1回】2009年10月15日(木)

食品製造・加工業界様向け～フードディフェンスとRFIDを使用したトレーサビリティシステム～

講演

- ①『食品の安全と信頼性向上の対策について～フードディフェンスを考える』 講師:大谷 丕古磨 先生

②『食品の安全・安心のための危機管理～RFID(IC 無線タグ)を使ったトレーサビリティシステムの構築の仕方』

講師:高橋 貞三 先生

【第2回】2009年11月19日(木)

食品製造・加工業界様向け～実用的な食品開発の発想法とPB商品の商品個別原価管理～

講演

- ①『これからの実用的な食品開発の発想法～次の一手の商品は?～』 講師:中山 正夫 先生
- ②『PB商品に対する商品個別原価管理の仕方は?～在庫、工数、品質管理などのコントロール管理の仕方～』

講師:山口 俊之 先生

■セミナー後記

NEC 岡山・CSKシステムズ様、多大なるご協力ありがとうございました。また、セミナー講演を快く担当して頂いた先生方、お疲れ様でした。

■編集後記・・・クリスマスにジローレストランのケーキを頂きました！美味しかったです。是非、みなさんも一度お試しあれ！(^^)

編集責任者:高橋 貞三

編集:飯塚 淳子・浅井 絵里子